



## 代表質問

医療体制などについて、医療関係者、3市1町、大阪府で協議し、検討を進めていきたいと考えています。

### 障がい者への差別解消に関する条例の制定は

議員 障害者差別解消法施行から約1年が経ちました。より身近に、より具体的に障がい者への差別解消を図るためにも条例制定に向けた取り組みが必要と考えますが、見解を伺います。

市長 本市では、障がい者等からの相談に職員が適切に対応できるよう対応要領を策定し、全職員への周知徹底等を行っています。

一方、大阪府では、広域的事業等を支援する広域支援相談員の配置等、市町村との連携体制が構築されています。

本市としても法の周知啓発を図るとともに、引き続き、府との連携体制の下、適切に取り組んでいきます。

# 議案質疑

3月定例会で提案された各議案について、本会議や各常任委員会で審議が行われました。ここでは、本会議や委員会での主な質疑の内容を掲載しています。

## 行政

### ふるさと寄附金事業 返礼品の更なる 質の向上を

議員 ふるさと寄附金事業について、福祉や教育などの各事業に寄附メニューを設けて寄附を募っていますが、この中で寄附の多い事業を伺います。

総合戦略部長 平成28年中の寄附、約5470万円のうち、多く選択された寄附メニューの上位の3項目は、金額の多い順に、市長におまかせが約2980万円、子育て環境の充実が約650万円、福祉の充実が約530万円です。

議員 寄附金の使途の開示はもとより、物産品や観光などの返礼品を提示されている市内の事業

者と連携を密にし、更なる返礼品の質の向上に取り組んでほしい。

## 医療

### 三島救命救急センター 建て替えの方向性は

議員 三島救命救急センターの建て替えに伴う場所の移転については、ソフト・ハードを合わせて検討すべきです。また、現在、合築している高槻島本夜間休日応急診療所をどうされるのか見解を伺います。

健康医療政策課長 移転候補地である大阪医科大学において移転が決定された後、医療体制や施設・設備のソフト・ハードについて、公益財団法人大阪府三島救急医療センターや大阪医科大学、医師会等の医療関係者、



▲耐震等のため、建て替えの検討が進む三島救命救急センター

3市1町（高槻市・茨木市・摂津市・島本町）、大阪府で検討を進めます。また、高槻島本夜間休日応急診療所は、設立経過を踏まえ、医師会と調整しながら検討を進めたいと考えています。

議員 移転で大きなのは、患者受け入れ体制の水準をどう充実するかです。関係者と十分に話し合い、財源や運営形態の検討状況をその都度示してほしい。